

お子さんへの関わり方にお悩みの先生

施設支援一般指導業務をご利用ください！

たじかの園、三田谷治療教育院では、気になるお子さんへの関わり方や環境設定の工夫などを、ともに考えています。お悩みのケースがあれば、是非ご相談ください。

★施設支援一般指導業務について★

施設を訪問しての指導・助言

たじかの園

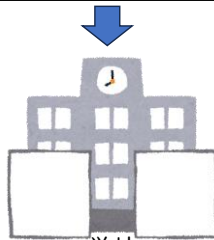
医療型児童発達支援センターの持つ専門性を活かし、保育士・児童指導員・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・公認心理師などの専門職員が、相談内容に応じて訪問しています。

三田谷治療教育院

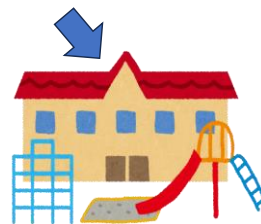
広域、専門機関としての支援のノウハウを活かし、特に未就学児の発達障害の特性に関する見立て、思春期くらいまでの行動問題のある子どもへの介入方法の検討などを得意とした専門スタッフが訪問して相談に応じます



事業所



学校



保育所（園）・幼稚園

★施設支援一般指導業務の流れ★

①窓口にご連絡ください。

- ・ 申込書、アセスメントシートの記入をお願いいたします。
(申込書・アセスメントシートの様式はたじかの園のホームページからダウンロードできます。)
- ・ 担当職員を検討させていただきます。

②担当職員が訪問日時の調整を行います。

③施設訪問

- ・ 普段の活動や支援の様子を見させていただくことや、訪問職員も活動に参加してお子さんに関わる中で、お子さんの状況を整理し、支援の方法を検討します。
- ・ 1回の訪問は2～3時間を目安としています。
- ・ 振り返りや支援について検討するための懇談の時間を持たせていただきます。

④その他

- ・ できるだけ多くの施設にご利用いただけるよう、施設への訪問は年に3回程度を上限にしています。
- ・ 観察させていただく日と振り返りをさせていただく日を分けさせていただく場合もございます。



★施設への訪問例★

たじかの園

- ① 集団の活動に参加しづらいお子さんへの関わりの工夫を知りたい。



保育士・公認心理師が訪問し、原因を施設職員と一緒に整理し、見通しを持ちやすい工夫や、友達との関わりが増える援助の仕方について話し合った。



- ② 運動発達がゆっくりなお子さんの成長を促す関わりについて知りたい。



理学療法士が訪問し、運動発達を促す運動遊びや、介助方法について助言し、その場で施設職員にも体験していただき、無理がない方法かを確認した。



- ③ コミュニケーション面や、食べ方や飲み込み方に課題のあるお子さんの介助方法を助言してほしい。



言語聴覚士が訪問し、関わりの工夫や摂食場面での助言を行った。日々の取組の中で食事の形態を考えていくことになった。スプーンなどの食具の工夫については作業療法士が再度訪問することになった。



三田谷 治療教育院

- ① 保育所で集団生活に遅れがちな未診断の子どもに対しての援助方法を知りたい。



周囲に遅れがちになる要因を観察しながら検討し、言葉の理解や指示の受け止め方、環境から受ける影響について理解を深め、特性に応じた指示や援助の仕方について助言した。



- ② 放課後等デイサービスで特定の職員へ他害のある児童に対する関わり方が知りたい。



応用行動分析の理論に基づき、職員への他害行動のある場面を分析した上で、他害行動が低減するための介入方法を検討し、記録をつけながら経過を一緒に見守っていった。



施設支援一般指導業務についてのお問い合わせ・申し込みは

どちらかの窓口にお問い合わせください



尼崎市立たじかの園
06-6423-3289
担当：木崎（きざき）
大石（おおいし）



三田谷治療教育院
090-8507-4161
担当：日下田（ひげた）

- ・強みを活かし、より良い支援ができるよう連携します。
- ・ご相談内容によって、どちらの法人が担当するかを検討させていただくことがあります。